

備前市施策評価シート

【平成31年度作成】

施策名 (小項目)	秩序ある土地利用と良好な市街地（都市施設）の整備	決算書 P160	(款)8 土木費 (項)5 都市計画費 (目)1 都市計画総務費、6 公園費
コード	05-08-30	作成者	都市住宅課長 大森賢二 (tel 64-2225)

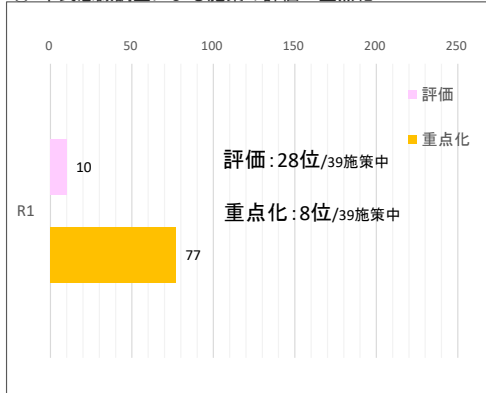
この施策の アピール ポイント	まちの健全な発展及び市民の安全・安心と快適な生活環境の確保に資する。
-----------------------	------------------------------------

この施策の 平成30年度の 施政方針	なし
--------------------------	----

<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想（大項目）	生活環境改善「快適・活力」
	基本計画（中項目）	快適な生活が送れるまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	市民のため、またこれから備前市に住もうとする人のため、まちの健全で秩序ある発展を促し、安全・安心で健康的・文化的な生活環境を創出する。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の 問題点を抽出)	本市は、まとまった平地が乏しく可住地帯が細分されているため、これら限りある土地の計画的・総合的な活用を図るとともに、自然環境の保全に努めながら地域の特性を生かした土地利用を進めていく必要があります。また、都市計画道路、駐車場などの交通施設や公園・緑地の整備も必要ですが、なかなか進んでいない状況にあり、今後の方向性を再検討していく必要があります。また、休止している土地区画整理事業については、社会情勢の変化を踏まえ廃止し、新たな土地の有効活用を検討していく必要があります。これらのことから、無秩序な開発を防止し、適切な土地利用計画を進めるとともに、市民ニーズに応えるため、身近で楽しめる街並みや公園整備も行うことが重要と考えます。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の特性を生かした土地利用 ・ 土地区画整理事業の見直し ・ 都市計画道路の計画精査と整備促進 ・ 駐車場の整備 ・ 公園の適切な維持管理 ・ 身近な公園緑地の整備 	

⑤ 市民意識調査による施策の評価・重点化



評価結果の分析
本施策の諸制度は法令に基づく土地利用が中心であることから、市民にはなじみが薄く満足度の評価が低くなっているものと思われるが、秩序あるまちづくりを進めるにおいては、重要な要素となるため、存続していく必要がある。

重点化要望の分析
人口減少に伴い、空き家が増えており、比較的若い世代から都市計画により市街地の活性化が望まれている。伊部・浦伊部土地区画整理事業については、都市計画を廃止し、新たなまちづくり計画により民間宅地開発を誘導していきたい。

⑥ 施策成果指標（基本目標・基本施策・施策意図から設定）

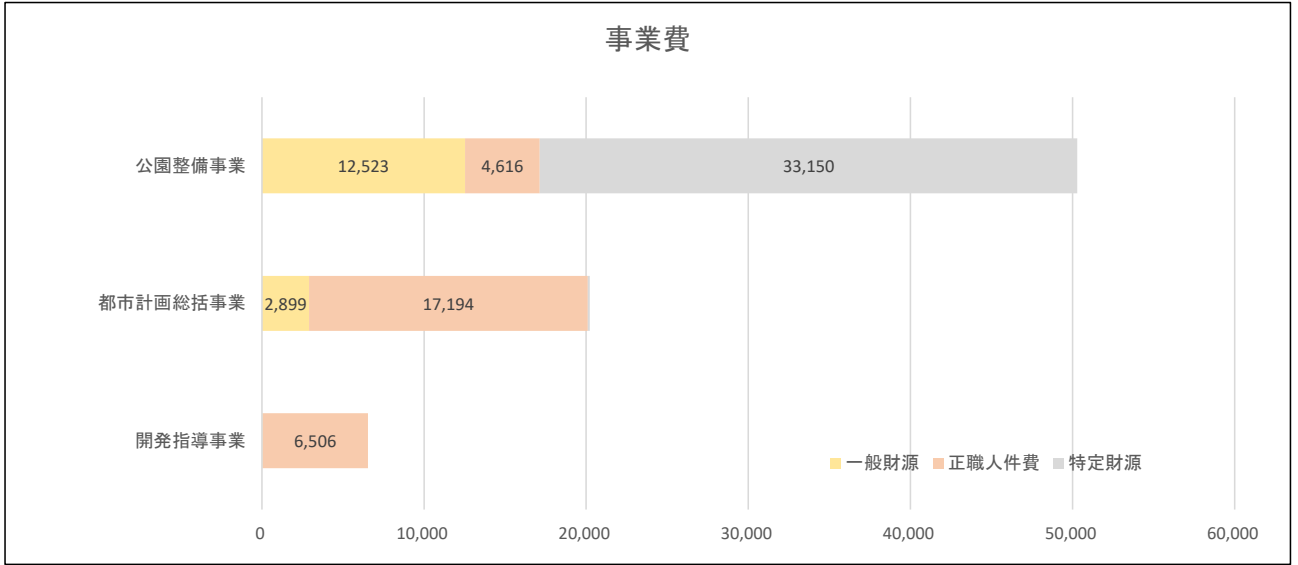
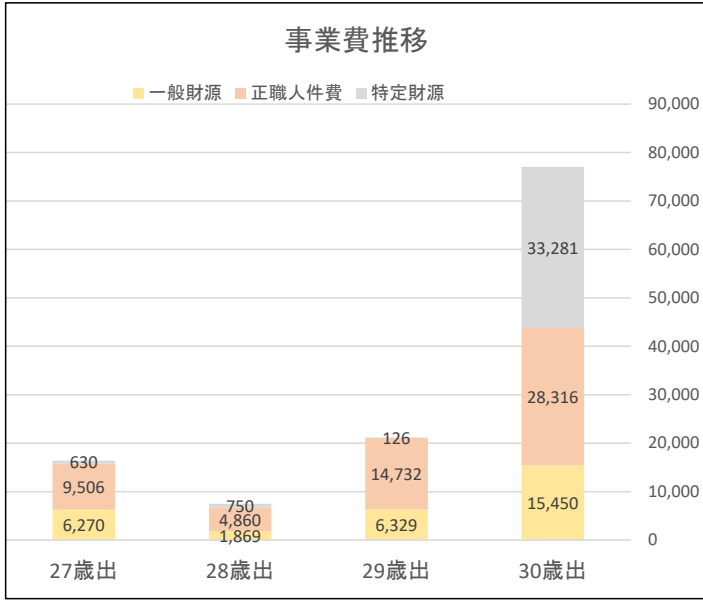
施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値		
		H28	H29	H30			R2	R4	
成果指標 違反件数（開発・公拓法・国土法）	目標	0	0	0	-	-	R2	0	
	実績	0	0	0			R4	0	
	達成率	-	-	-			-	-	
参考指標 市民1人あたりの都市公園面積	目標	m ²	8	8	8	-	-	R2	8
	実績	m ²	7.7	7.7	7.7			R4	8
	達成率	%	-	-	-			-	-
参考指標①	ベンチマーク							-	-
	目標							R2	
	実績							R4	
参考指標②	達成率	%						-	-
	ベンチマーク							-	-
	目標							R2	
参考指標③	実績							R4	
	達成率	%						-	-
	ベンチマーク							-	-

⑦ 目標達成に必要な新規事業（施策構成事業以外の事業）及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
岡山県	都市計画関係所管部局との連携	情報の共有化により事前指導等適切な対応が可能になる。
農林水産課	農地法・森林法等との許認可事務との連携	情報の共有化により事前指導等適切な対応が可能になる。

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由（なぜ、そのランクと評価したのか）	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか？	3	市民になじみの薄い施策であり、また短期間での成果が目に見えにくいため指標の設定自体が困難であり、他に適切な指標がないことから市民意識調査の結果を掲げている。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か？	3	法定事務であることから現状では妥当であるが、情勢の変化に応じた制度の見直しや新しいルールづくりの検討が常に必要	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは？	3	無秩序な開発等の行為を防止し、まちの景観や自然を保全するという点では一定の成果が上がっているが、受動的な性格が強いことから短期間での向上は難易度が高い。	
進行年度(H31年度)の取組内容 (課題解決状況)		土地利用については、伊部・浦伊部土地区画整理事業の廃止をする方向で進めており、区画整理廃止後の新しいまちづくり計画案を策定し、決定図書の縦覧等手続きを進めております。また、使用禁止となっていた浜山運動公園野球場スタンド等の改修工事を行い、施設の利便性の向上と利用者の安全の確保を図りました。立地適正化計画の策定については、令和2年までの3年間で作成いたします。	
翌年度(R2年度)の取組目標		立地適正化計画の策定は、令和1年度から令和3年度までの予定で人口減少や少子高齢化の進行が見込まれる中、安心・安全で快適な暮らしを確保するため、医療・福祉施設、商業施設や住居等がまとまって立地し、公共交通によりこれらの施設にアクセスできるなどコンパクトシティの実現を目指します。	
二次評価者コメント		備前市の都市計画は策定からの経年により現状を踏まえた見直しが必要となっていますが、この数年でその見直し作業を本格的に進めていくこととなります。まず伊部・浦伊部土地区画整理事業については見直し作業が大詰めに来ており、今年度中の廃止法手続き（都市計画決定）を完了できるよう進めてください。またこのことに伴う都市計画マスタープランの見直しや区域内の道路整備計画・用途地域の要変更についても引き続き進めるとともに、コンパクトシティによる持続可能まちづくり実現のため今年度から着手する立地適正化計画の策定について、しっかりと取り組んでください。	基本施策への 貢献度
氏名	平田 徳己治		4 やや高い



事業費 0.8 億円
 特定財源 0.3 億円

